

日光市に生まれたことを
誇りに思える児童の育成

- よく考え学ぶ子
- 明るく思いやりのある子
- 進んで体をきたえる子



校長

今市小だより



チーム今小

第9号令和4年12月23日

発行者 日光市立今市小学校
黒澤 守

TEL 0288-22-0054
FAX 0288-22-0055

夢や希望を実現する学校



2学期も、みんなよく頑張りました！

最後まで笑顔を決やさず精一杯頑張り通した運動会、地域の方々・御家族の方々の御協力のおかげで大成功に終わった「創立150周年記念事業並びに記念式典・記念講演会」。自分の目標に向かって、最後まで自分との戦いにチャレンジし続けた「校内持久走大会」。その他、「修学旅行」「臨海自然教室」「人権週間」など、2学期には大きな行事が数多くありました。子供たちは、常にチャレンジ精神を強くもち、自分で立てた目標に向かって努力し、互いに励まし合い、すばらしい活躍を見せてくれました。私たちは、子供たちの頑張る姿から多くの感動をもらいました。本当に皆が輝いていました。

今年も残すところあとわずかとなり、御家族の皆様には多くの御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございました。また、地域の皆様にも、子供たちの活動に積極的に関わっていただき、感謝の気持ちでいっぱい입니다。どうぞ、今後ともよろしく願いいたします。新しい年も子供たちにとって、さらに飛躍の年でありますことを心から願っています。

12月号のトップ記事は、「子育て」についてです。どうぞお読みください。

～ ソーシャルスキル 育っていますか？ ～



お子さんは何年生ですか。小学校1年生であれば、小学校にあと5年間、中学校3年間の義務教育を受けます。例えばその後、高等学校卒業後に親元を離れるとしたら、11年間で社会に出て行くこととなります。生活スキルを含め、その時に必要となるスキルがソーシャルスキルです。それらを身につけ、その後の長い社会での生活で生き抜いていくわけです。そう考えると、親元で学ぶこの期間というのはとても重要な時期だと思えてなりません。お子さんの学力ばかりに目が奪われがちですが、生活していくために必要なスキルは身につけているでしょうか。以下に例を挙げてみます。

- ・自分に関する数字等がわかる。(住所・郵便番号・電話番号・身長・体重・靴のサイズ・服のサイズ)
- ・家族のことを知っている。親類の関係性を知っている。(いとこ・おじ・おば)
- ・服は自分で選べる。
- ・暑い寒いを考えて、衣服その他の調節ができる。
- ・具合が悪くなったらどうすればいいか、ある程度わかる。
- ・自分の体調の悪さに気付くことができる。
- ・お金の管理ができる。
- ・自分の部屋を掃除できる。
- ・簡単な料理ができる。(卵焼きなど)
- ・自由な時間をコントロールできる。
- ・自分の長所、短所を知っている。等々・・・



今の年齢によってできることは様々ですが、そういったスキルを身につけていくことに関心を向けて行くことも大切だと思います。何でもやってあげてしまうと、必要性に気付かず大きくなってしまいます。低学年向けの便利グッズを高学年になっても使っていると、「中学生になってもできない！」ということが増えてしまいます。(シューズのひもや三角巾を結ぶ、エプロンをかけるなど)

しかし、「自立」とは一人で何でもできることではありません。できないことは、人に頭を下げて聞いたり、お願いしたりすることでカバーできることもあります。そのときに必要なコミュニケーションの力もさらに重要です。そして、人に感謝する気持ちを持ち続けることも。

学校でも、そのようなスキルについて学ぶために、お子さんに必要なものは何かを考えながら日々指導、支援しています。

親元で生活するこの時期に、生活していくためのスキルの重要性を感じ、たくさん獲得させてあげたいと思います。そして、きっと忙しいであろうこの時期の子育てを楽しみながらお子さんに関わっていききたいものです。

5年生 臨海自然教室 12月12日(月)～14日(水) 2泊3日の宿泊学習

12月12日(月)～14日(水)までの2泊3日で、茨城県銚田市にある「とちぎ海浜自然の家」で、宿泊学習を行いました。子供たちはすばらしい頑張り、活躍を見せてくれました。初日は、海浜ウォークラリーとニュースポーツ体験活動、2日目は、砂浜活動と塩づくり、壺焼きも体験、ジェルキャンドル作り。3日目は、アクアワールド大洗水族館など、たくさんの体験をしてきました。子供たちは、元気いっぱい活動し、仲間と協力し合って目的を達成することができました。友達の大切さを実感し、すばらしい思い出を作ることができました。一回りも二回りも成長することができた宿泊学習でした。

ここで臨海自然教室でのいくつかの素敵なエピソードを紹介させていただきたいと思います。

【エピソード1】

- 茨城県に入って、バスから海が見えた瞬間、バスの中は、「海だ、海だ、きれいだなあ。でかいなあ。」と大歓声。素直に感情を表現する姿に心がほころびます。

【エピソード2】

- 海浜自然の家に着いた時、ある子供が「わあー、すごい建物だなあ。ワクワクするなあ、楽しみだなあ。」と一言。

【エピソード3】

- 大きなお風呂に感動する男の子、ワイワイ、ガヤガヤ、テンションも最高潮。大浴場は笑顔100%の男子で熱気ムンムンでした。

【エピソード4】

- 塩づくり活動の時、バケツに入れた海水を海から運んで来る際、ある男の子が、「だめだ、重過ぎる。」それを聞いた同じグループの女の子が、「全く、もう。」と言って、男の子からバケツを受け取り、急な階段が続く上り坂を片手で軽々と持って運んでいきました。その様子を見て、男の子は、慌てて、「大丈夫だよ。やっぱり俺が持つよ。」と女の子の後を申し訳なさそうについていきました。

【エピソード5】

- 悪ふざけが過ぎ、友達同士でトラブル発生、教師が間に入って一人一人から話をよく聴きました。一人一人それぞれが素直に自分の非を認め、すぐさま解決。皆に笑顔がもどりました。

【エピソード6】

- 最終日の朝、施設を出発する際、ある子供が「さみしいなあ、まだ帰りたくない、皆と一緒に生活するって楽しいもん、もっと泊まりたい。」とつぶやきました。

相手を大切にすることが飛び交う学校

12月5日(月)の朝会で、相手を大切にすることがについて話をしました。学校生活においても、家庭生活においても、さらには社会生活においても、時として、知らず知らずのうちに、人を傷つけてしまったり、嫌がる言葉を発したりしてしまったりすることがあります。

みんなが温かい気持ちで生活していくことができるように、「相手を大切にすることが」をたくさん使っていくといいものです。

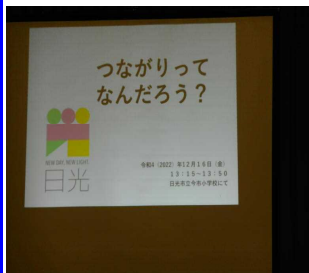
【相手を大切にすることが】

- ・ありがとう ・いいね ・すごいね ・ごめんね
- ・上手だね 頑張っているね ・大変だったね
- ・応援しているよ おいしいね ・心配ないよ
- ・いっしょにやろう ・いっしょに考えよう
- ・よかったら話を聴くよ 失敗じゃないよ大丈夫だよ
- ・手伝うよ おつかれさまです ごくろうさまです
- ・おいしいね きれいだね 努力しているね
- ・……数え切れないほどあります。

12月16日(金) きらきらタイム

野口一徳PTA会長さんを学校にお呼びして、4年生から6年生までの児童に「つながりって何だろう？」というテーマで話をさせていただきました。

自己紹介から始まり、今まで市役所勤務で様々な仕事を経験してきた中で、一番に伝えたいことは、「人と人のつながりであり、人はたくさんの人に支えられて生きていること、そして、自分の周りには自分を大切に思ってくれている人がたくさんいるということ。」とおっしゃっていました。そして、人の話をていねいに聴くことの大切さについても教えていただきました。



1月の主な行事予定

- 4日(水) 学校閉庁日
- 5日(木) 学校閉庁日
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 第3学期始業式
- 11日(水) 4・5・6年生…発育測定
- 12日(木) 1・2・3年生…発育測定
- 13日(金) 安全点検
- 16日(月) 清掃班編制
- 17日(火) スクール・カウンセラー訪問

- 18日(水) 体育集会
- 19日(木) クラブ
- 23日(月) 給食週間～27日(金)まで
- 24日(火) ICT支援員訪問
- 25日(水) 体育集会
- 26日(木) 移動図書館 クラブ
- 27日(金) 6年生…自転車交通安全教室
4年生…社会科見学(益子町)
- 30日(月) 3・4年生スケート教室
- 31日(火) 5・6年生スケート教室

～誰もが認められて、誰もが安心してチャレンジできる温かな今市小を目指して～